

平成 18 年度

総務局予算要求方針

- 目 次 -

1	平成 18 年度総務局予算要求総括表	1
2	18 年度予算要求にあたっての基本的考え方	2
3	予算要求の重点事項	4
	(1) 元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ	
	(2) 世界に誇れる環境の街さっぽろ	
	(3) 芸術・文化、スポーツを発信する街さっぽろ	
	(4) その他の重点事業等	
4	事務事業の総点検	12
	(1) 重点取組項目	
	(2) 事務事業の見直し	

1 平成 18 年度総務局予算要求総括表

【一般会計】

(単位：百万円)

区 分	平成 17 年度 予 算 額 A	平成 18 年度 要 求 額 B	増 減 額 B - A	増減率 (B - A) / A
市政推進室	30 (30)	41 (41)	11 (11)	36.0% (36.0%)
行 政 部	2,290 (2,043)	1,964 (1,866)	326 (177)	14.2% (8.7%)
秘 書 部	89 (88)	87 (87)	2 (1)	2.0% (2.2%)
広 報 部	890 (810)	863 (798)	27 (12)	3.1% (1.5%)
国 際 部	589 (504)	507 (450)	82 (54)	13.8% (10.9%)
職 員 部	106,622 (105,918)	104,956 (104,209)	1,666 (1,709)	1.6% (1.6%)
東京事務所	105 (103)	106 (104)	1 (1)	0.6% (0.4%)
合 計	110,615 (109,496)	108,524 (107,555)	2,091 (1,941)	1.9% (1.8%)

1 ()内は一般財源額

2 本表は百万円単位のため、増減額及び増減率が一致しない場合がある。

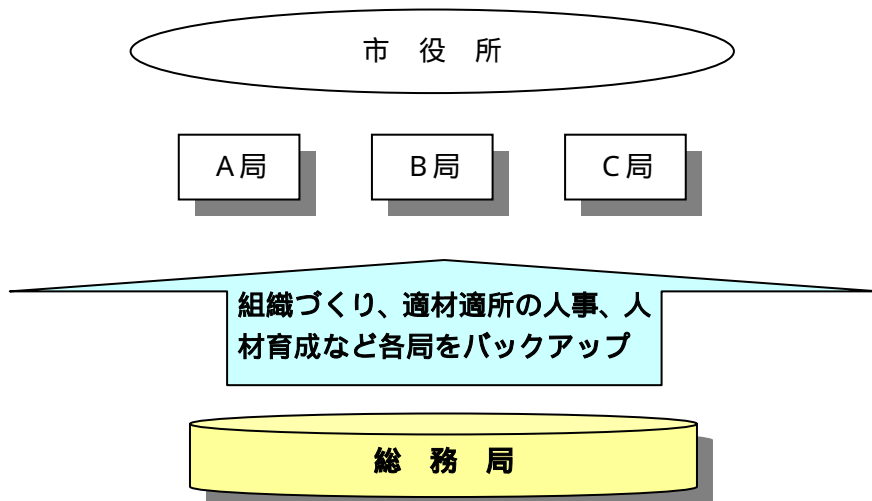
3 職員部には一般会計職員の人件費を含む。

2 18年度予算要求にあたっての基本的考え方

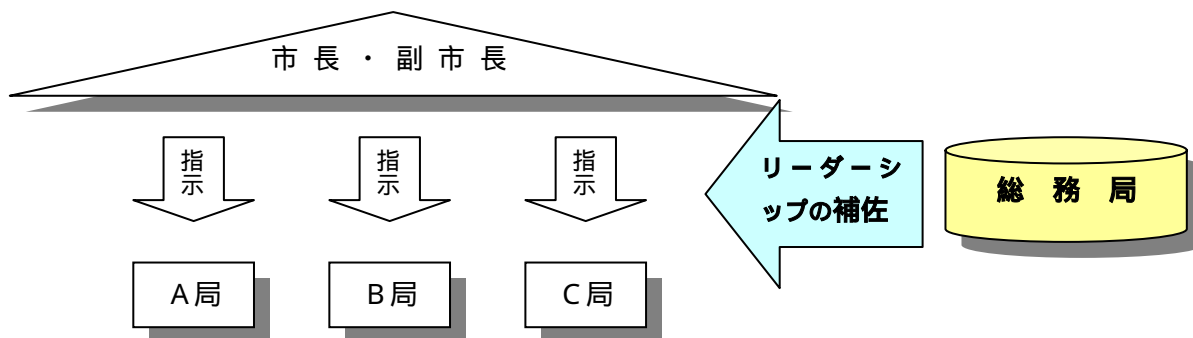
1 総務局の果たす役割

市役所の中で、総務局が果たす役割は主に3つあります。

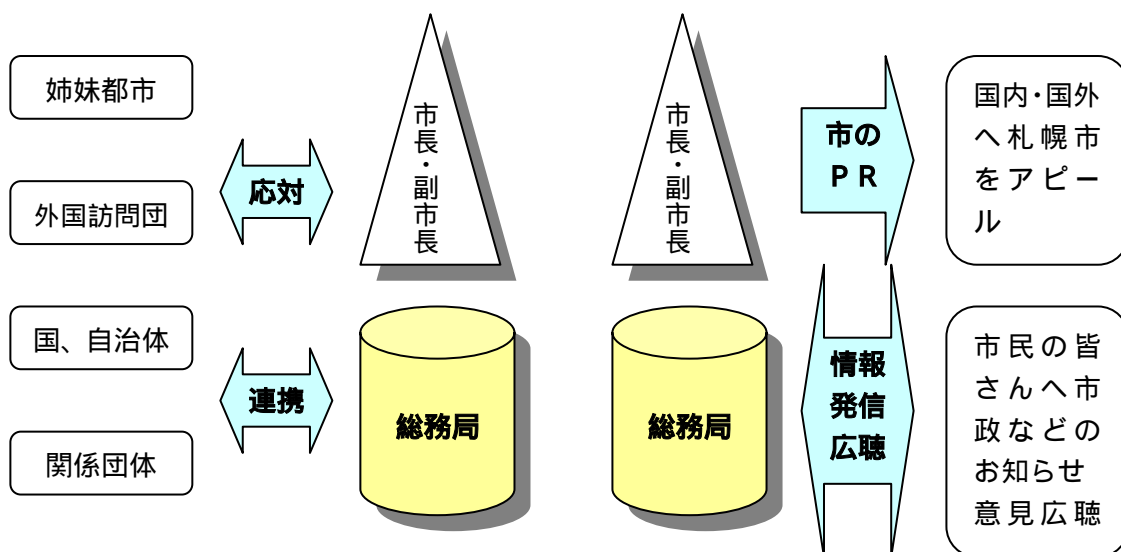
- (1) 市役所内部の裏方として、各部局が仕事をしやすい環境を整えること



- (2) 市長・副市長などのリーダーシップの発揮を補佐すること



- (3) 札幌市を代表して国内外にわたる対応・連携・PRを行うこと、及び市民の皆さんに市政などの情報提供を行うこと



2 予算要求にあたっての基本的な考え方

総務局では、これらの役割を十分に果たすため、2つの考え方を中心に据えて18年度の予算要求を行うこととします。

(1)「さっぽろ元気ビジョン」実現に向けたこれまでの取組の成果を、多くの市民の皆さんが共有できる実感に広げるための予算要求を行う。

平成15年7月に札幌市は今後の市政運営の基本となる施政方針「さっぽろ元気ビジョン」を公表いたしました。これは主に3つのプラン(総称「さっぽろ元気プラン」)を実行していくことにより、「市民の力みなぎる、文化と誇りあふれる街」を実現しようというものです。

その3つのプランとは、次のとおりです。

【施政方針「さっぽろ元気ビジョン」実現のための3つのプラン】



これまで、札幌市では「さっぽろ元気ビジョン」の実現に向け、市民の皆さんの視点を取り入れながら、全庁をあげて「さっぽろ元気プラン」に基づいた様々な取組を実践してきました。

総務局としては、前ページであげた局の役割を鑑み、事業を実施する各局の裏方として、組織づくり、適材適所の人事、人材育成など様々な側面から支援してきました。

これらの取組の最終年度となる18年度は、これまでの取組の成果を検証し、その成果を多くの市民の皆さんが共有できる実感に広げることができるよう、各局が事業を実施しやすい環境づくりにさらに貢献していくとともに、総務局自身のパフォーマンス(機能)を最大限に発揮できるよう、事業を重点的に配置し、これらの成果を一層大きくできるようにしていきます。

(2) 効率化と重点化を基調とした予算要求を行う。

予算要求にあたっては、局内の事務・事業について、市民の皆さんの目線でどうしたらもっと効率がよくなるのかを考え、見直しを行い、その結果生み出されたお金や人な

どの資源を、必要な事業に重点的に配分することが必要です。

そこで、

慣例や、従来の枠組みにとらわれることなく、積極的に事務・事業の統廃合などを行うこと。

事業の成果をあげるため、限られた資源を必要な事業に重点的に配分すること。

局内の議論を深め、無駄のない、効率的な事業の構築に努めること。

以上、3つの視点から、総務局の全体の予算を組み立てることとします。

3 予算要求の重点事項

(1) 元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ

札幌企業の振興を通して本市の経済を活性化させるため、首都圏における販路拡大支援等を実施するとともに、札幌の魅力を積極的にPRすることにより、集客交流を促進する。

1 中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援

12百万円(9百万円)

注:()内は17年度予算額

首都圏市場開拓イニシアティブ事業(東京事務所)

12百万円【新まち等、レベルアップ】

札幌市の情報関連企業の首都圏進出を支援するため、東京事務所を拠点に、人と企業の交流促進、販路拡大支援等を実施する。

また、一部事業の民間組織による運営に向けた支援を新たに実施する。

【成果指標】

支援企業数 【目標】3社 12社

【18年度効果】+12社（累計42社）

事業参加首都圏企業数

【目標】9社 155社

【18年度効果】+55社（累計472社）

ビジネスラウンジ利用者数

【目標】240人 420人

【18年度効果】+120人（累計1,232人）

2 協働による観光振興とコンベンション事業の推進

44百万円（44百万円）

注：（ ）内は17年度予算額

ア 首都圏シティPR事業（東京事務所） 27百万円【新まち等、レベルアップ】

札幌への観光客等の誘致促進を図るため、主要マーケットである首都圏をターゲットに公共交通機関、新聞紙面等メディアを活用した広告掲出やイベントの開催などシティPRを行う。

イ 「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」開催費負担金（国際部）

11百万円【配分、継続】

大通公園を会場にして、市民及び観光客にクリスマス用品・飲食物を提供し、本市の姉妹都市ミュンヘン及びドイツの文化紹介等を行う、「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」の実行委員会に対し負担金を交付する。

ウ 東アジア都市間文化交流事業（国際部）

2百万円【配分、継続】

札幌、中国、韓国の青少年が関心を持ちやすいテーマとして、アニメーションを取り上げ、フォーラムなどの開催を通して交流を進める。

エ 在住外国人支援施策推進事業（国際部）

4百万円【配分、継続】

外国人市民向けに、生活に必要な情報をわかりやすい形で提供する。また、市民、団体、外国人市民、大学関係者等からなる会議を運営し、協働による国際化に対応した、まちづくりについて検討する。

【成果指標】(上記ア～ウ共通)

年間来客数 【目標】1,325万人 1,500万人

【18年度効果】+43万人(累計1,500万人)

3 さっぽろの知恵を活かした特色ある産業の振興

12百万円(9百万円)

注:()内は17年度予算額

首都圏市場開拓イニシアティブ事業(東京事務所)【再掲】

12百万円【新まち等、レベルアップ】

札幌市の情報関連企業の首都圏進出を支援するため、東京事務所を拠点に、人と企業の交流促進、販路拡大支援等を実施する。

また、一部事業の民間組織による運営に向けた支援を新たに実施する。

【成果指標】

支援企業数 【目標】3社 12社

【18年度効果】+12社(累計42社)

事業参加首都圏企業数

【目標】9社 155社

【18年度効果】+55社(累計472社)

ビジネスラウンジ利用者数

【目標】240人 420人

【18年度効果】+120人(累計1,232人)

4 アジアを中心とした産業ネットワークの拡大

6百万円(6百万円)

注:()内は17年度予算額

ア 在住外国人支援施策推進事業(国際部)【再掲】

4百万円【配分、継続】

外国人市民向けに、生活に必要な情報をわかりやすい形で提供する。また、市民、団体、外国人市民、大学関係者等からなる会議を運営し、協働による

国際化に対応したまちづくりについて検討する。

イ 東アジア都市間文化交流事業（国際部）【再掲】 2百万円【配分、継続】

札幌、中国、韓国の青少年が関心を持ちやすいテーマとして、アニメーションを取り上げ、フォーラムなどの開催を通して交流を進める。

【成果指標】(上記イ)

来札外国人宿泊者数（延べ宿泊者数） 【目標】232,072人 400,000人

【18年度効果】+50,000人（累計400,000人）

(2) 世界に誇れる環境の街さっぽろ

世界の冬の都市とネットワークを構築し、冬の市民生活の向上を図る。

1 北国らしいゆたかな冬の暮らしの実現

21百万円（21百万円）

注：（ ）内は17年度予算額

ア 世界冬の都市市長会関連事業（国際部） 10百万円【配分、継続】

「快適な冬のまちづくり」を目指した世界冬の都市市長会の実務者会議をグリーンランド・ヌーク市で開催する。第13回市長会議（2008年同市開催予定）の開催計画に係る協議のほか、小委員会を併催し、共通する冬の課題について調査検討を行う。

また、2006年市長会共同事業として、「北京国際旅遊博覧会」に本市を含む会員都市が共同で出展し、観光PRを行う。

イ 「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」開催費負担金（国際部）【再掲】

11百万円【配分、継続】

大通公園を会場にして、市民及び観光客にクリスマス用品・飲食物を提供し、本市の姉妹都市ミュンヘン及びドイツの文化紹介等を行う、「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」の実行委員会に対し負担金を交付する。

【成果指標】(上記イ)

冬期間の来客者数(11月～3月の観光客数)

【目標】431万人 490万人 【18年度効果】+15万人(累計490万人)

(3) 芸術・文化、スポーツを発信する街さっぽろ

札幌の歴史を知るうえで貴重な資料となる歴史的な価値の高い公文書等の保存・活用を図る。

1 芸術・文化の薫る街の実現

7百万円(6百万円)

注:()内は17年度予算額

歴史的公文書等収集保存事業(行政部)

7百万円【新まち等、継続】

歴史的資料として重要な価値を有する公文書及び私文書等を収集、保存、公開する「公文書館」の設置に向け、施設整備に先行して資料の収集・保管を行う。

(4) その他の重点事業等

システム整備

223百万円(334百万円)

注:()内は17年度予算額

ア 文書システム整備及び運用管理事業(行政部)

135百万円【新まち等、レベルアップ】

文書管理に係る一連の事務処理を電子的に行う高度な文書管理及び電子的に決裁を行うためのシステムを構築し、各業務システムにおいて共通に利用する。このための設計・開発を平成16～17年度に行っているが、平成18年度は研修等システムの導入作業及び運用管理を行う。

イ 事業情報一元化システム改修費（市政推進室）

150万円【新まち等、レベルアップ】

予算要求から事業の実施・評価まで、事業のライフサイクルの段階で発生する情報をデータベース化し、一括管理するシステムを平成17年度より運用している。18年度は、新たに構築される他システムとの連携や新たな機能の追加等に伴う改修を行う。

【成果指標】(上記イ)

重大なトラブル件数

ウ 「声」の集約システム改修費（広報部）

120万円【配分外、新規】

市民の「声」に関する情報を全庁で共有させる「声」の集約システムについて、人事異動や機構改革の情報を速やかに反映し、更にスムーズな事務処理を行うため、「声」の集約システムの改修を実施する。

エ 人事給与エントリーシステム整備事業（職員部）

610万円【新まち等、継続】

各所属で行う人事給与の庶務的業務を効率化するためのシステムの構築を平成17年度まで行った。平成18年度にはシステムが稼動するため、これに係る運用・保守及び職員に対する研修を実施する。

施設の改修・改築

500万円(2320万円)

注：()内は17年度予算額

本庁舎高層階エレベーター改修工事（行政部）

500万円【新まち等、レベルアップ】

老朽化が著しい本庁舎高層階用エレベーターを平成16年度から平成19年度までの4カ年で改修する。

その他

26百万円(47百万円)

注:()内は17年度予算額

ア 市役所改革プラン推進事業(市政推進室)

2百万円【配分、継続】

市長の施政方針「さっぽろ元気ビジョン」を実現するための3つのプランの1つである「市役所改革プラン(取組期間・平成16~18年度)」を、全庁的に推進していくための事業である。

来年度は取組の最終年度であることから、3年間の取組成果の検証、改革を継続していくための取組を重点化し、具体的には、これまでの取組成果を市民と共有する市民フォーラムの開催、改革の担い手となる職員の意識等の現状を調査する職員アンケートを実施する。(17年度から継続)

【成果指標】

- ・改革意識が高まった職員の割合(職員アンケート)
- ・市役所改革への理解が深まった市民の割合(市民フォーラム参加者アンケート)

イ 行政評価制度推進事業(市政推進室)

4百万円【配分、継続】

平成17年度に拡充した行政評価制度の執行に係る経費。行政評価制度では、11年度より実施してきたこれまでの事務事業評価に加え、施策レベルでの評価を行うとともに、第三者評価委員会を設置し、市役所内部の視点に加えて外部の視点での評価を行う。また、評価結果を分かりやすく公表し透明性を高めるとともに、市民意見を反映させることで、市政への市民参加の推進を目指す。

【成果指標】(上記イ)

- ・事業の改善に評価制度が活用できたと感じる職員の割合(%)
- ・市政の情報を得ることができたと感じる市民数(人)
- ・評価結果に対する市民意見数(件)

ウ 出資団体評価システム推進費（市政推進室） 1百万円【配分、新規】

従来からの出資団体評価システムを生かしつつ、行政評価と連携しながら、外部の専門家の視点を取り入れたチェック機能を付加して、出資団体改革プランの進行管理を行うとともに、新たに生じた課題にも対応するなど着実に改革を推進することができるようにモニタリングを実施する。

エ 平和都市宣言普及啓発費（行政部） 3百万円【配分、継続】

平成4年に行った「札幌市平和都市宣言」の理念を広く普及し、併せて市民が平和について主体的に考え、平和の尊さを認識していただく契機となるよう、平和パネル展、平和へのメッセージ募集などの事業を行う。

オ 市民意見の政策反映（広報部） 3百万円【配分、継続】

寄せられた市民意見から、施策に結びつく可能性の高い意見を抽出・評価する。庁内検討会議を経た上で市民の意識調査等を実施し、施策への反映を進める。結果については、ホームページで市民に公開する。

カ 市民満足度調査（広報部） 5百万円【配分、新規】

施策や事業の成果や効果を把握するために、市民の満足度に関する指標について集約したうえ、一括して市民アンケートを実施する。調査結果は行政評価の中で活用し、施策や事業の改善に役立てる。

【成果指標】(上記カ)

市民満足度調査回収率

キ 国際交流関係施設修繕事業（国際部） 3百万円【配分、新規】

国際交流施設の老朽設備を修繕することにより、施設の利便性を向上させる。

ク 札幌国際プラザ基金造成費補助事業（国際部） 5百万円【配分、継続】

（財）札幌国際プラザが行う国際交流事業の費用にあてるために、同プラザは基金を積み立てており、その基金造成に対して補助する。

4 事務事業の総点検

(1)重点取組項目

人件費の見直し（給与改定、職員数の削減等）

<見直し額1,388百万円>

(2)事務事業の見直し

内部効率

一般事務費の節約や、効率的な執務による時間外勤務手当等の抑制

<見直し額165百万円>

所管施設の維持管理業務の見直しによる経費節減

<見直し額11百万円>

公用車購入経費の節減

<見直し額1百万円>

サービス水準など

市民見学会業務の廃止

<見直し額5百万円>